

# 鉛板・硬鉛板（圧延板）

鉛板は、硫酸などの薬液に対する耐食性に優れていることから化学用プラントや屋根及び壁材などの建築用、病院のレントゲン室でX線の防護等の医療用として使用されています。また、密度が $11.34\text{g}/\text{cm}^3$ と高く、遮音性にも優れています。



## 鉛板・硬鉛板の特長・仕様

種類	記号	成分	適用寸法	参考
鉛板	PbP	純度99.9%以上の鉛板	厚さ0.3mm以上70mm以下、 幅2000mm以下 及び長さ5000mm以下	引張強さ10.5Mpa 伸びは60%程度
硬鉛板4種	HPbP4	アンチモンを4%添加した鉛合金板	厚さ3.0mm以上6.0mm以下 幅1000mm以下	引張強さ25.5Mpa 伸びは50%程度
硬鉛板6種	HPbP6	アンチモンを6%添加した鉛合金板	及び長さ2000mm以下	引張強さ28.5Mpa 伸びは50%程度

## 製造方法

鉛板・硬鉛板の製造は、圧延機で行います。

圧延する鉛素材は、鑄造によってスラブと呼ばれる原板を製造し、これを圧延機で繰り返し圧延し、要求厚さに仕上げます。全国鉛管鉛板工業協同組合では、長い経験・実績から、原板から製品厚さまでの圧下率が約60%以上であることが望ましいと定義し、鉛板を供給しています。

鉛板・硬鉛板の代表寸法（参考質量）

厚さ mm	鉛板			硬鉛板4種及び6種	
	幅×長さ mm			幅 1000×長さ 2000mm	
	910×1820	1000×2000	2000×5000	1枚の質量 kg 参考	
	1枚の質量 kg 参考 (密度を 11.34g/cm <sup>3</sup> として算出)			HPbP4 (密度を 11.03g/cm <sup>3</sup> と して算出)	HPbP6 (密度を 10.87g/cm <sup>3</sup> と して算出)
0.3	5.63	—	—	—	—
0.5	9.39	11.3	—	—	—
0.7	13.1	15.9	—	—	—
0.9	16.9	20.4	—	—	—
1.0	18.8	22.7	113	—	—
1.5	28.2	34.0	170	—	—
2.0	37.6	45.4	227	—	—
2.5	47.0	56.7	284	—	—
3.0	56.3	68.0	340	66.2	65.2
4.0	—	90.7	454	88.2	87.0
5.0	—	113	567	110	109
6.0	—	136	680	132	130

厚さ6.0mm を超え70.0mm 以下の鉛板及び硬鉛板については別途お問合せをお願いします。

化学成分

種類	記号	化学成分									
		Pb	Sb	Sn	Cu	Ag	As	Zn	Fe	Bi	
鉛板	PbP	99.9以上	合計0.10以下								
硬鉛板4種	HPbP4	95.1以上	3.50~4.50	合計0.40以下							
硬鉛板6種	HPbP6	93.1以上	5.50~6.50								

以上の各項目はJIS H 4301 : 2009に準拠します

 日東化工機株式会社 金属事業部

〒273-0017 千葉県船橋市西浦3-1-1

TEL047-433-7301

FAX047-434-7013

本社 東京都江東区常盤1-17-11

TEL03-3633-7802

FAX03-3632-5960

NITTO P&M ENGINEERING Co., Ltd